

地区広報

はづ

No. 20

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

平成2年10月25日



防災訓練 平成2年9月2日

「備えあれば」
「憂いなし」

「災害は
忘れた頃に
やってくる」

地震災害は毎年のように、必ずどこかで発生しておりますが、幸い身近に影響を及ぼすものは最近発生しておりません。しかし、「災害は忘れた頃にやってくる」と申します。

今、大規模地震が発生した場合、官・民一体で対応する為に日頃の訓練が大いに必要となります。

羽津地区の皆さんが安心して暮らせる快適なまちづくりを実現する為には、一人ひとりが認識を強くして、防災に当る事が大切だと思います。

市民総ぐるみ 防災について

四日市市消防団羽津分団
分団長 相松正男

毎年九月一日の防災の日以前後して、地区の皆さんには市民ぐるみの防災訓練に参加して頂いておりますが、一般に防災訓練の目的は大地震を想定して、情報伝達と事後対策の訓練を実施することにあります。

訓練内容を大別しますと、(1)住民の避難誘導 (2)負傷者の救護及び応急手当 (3)事故処理、ということになります。

避難訓練は大変重要なもので、地域住民の安全確保を第一として人員の掌握や救援物資の配分その他、皆さんに直接関係することが多く発生します。



又、学校等における児童生徒の災害時の対策や、老人の引率避難訓練なども大切なことです。

負傷者の応急手当訓練は特に重点項目の一つとしてとらえ、毎年充分時間をかけて訓練参加の皆さんに救急の手法を習得して頂いております。救急の認識は、身近な問題として重視していきたいと思っております。

事故処理については大きく分け、火災事故と道路交通事故が考えられます。火災は最近の生活内容の変化で、燃料もガスや電気が多く使われるようになり、これに伴って火災発生件数も増加の傾向にあります。

初期消火のため、各家庭に消火器の設置をすすめておりますが、未だ充分にいきわたっていないと思えないのは残念に思います。

道路交通については、災害発生時に考えられる道路面の物や樹木などの散在から、まず幹線道路の整理をして協力する必要があります。

又、防災で忘れてならないのは、水防訓練であります。昨年までは防災と水防の訓練は別の日に実施していましたが、本年度は総合訓練として水防訓練を組み入れました。(表紙写真参照)

どうか羽津地区の皆さん、防災、水防の訓練の重要性を認識して頂きます様に、そしてその成果は必ずや非常事態の発生の際に発揮されることを願い、今後共、消防団活動にご理解をお願いします。



平成二年度 羽津分団行事計画

()内は月日

1 教養

消防団員としての必要な知識や、技能を習得するため職責に応じた計画・実施する。
幹部科(4/8)、初任科(4/22)、機関員科(7/22)、防災指導員科(7/8)

2 訓練

(1)総合防災・水防合同訓練(8/30) (9/5)
(2)規律訓練(11/4)
(3)その他

○危険物安全管理強調月間(6/1) (6/30)

○秋の火災予防運動(10/9) (10/25)

○文化財防火デー(7/26)

○春の火災予防運動(3/1) (3/31)

3 行事

操作大会(8/19)
年末警戒(12/28) (12/30)
消防出初式(1/13)
その他、幹部会、会議等適宜開催

(訪問インタビュー)
今回は昭和の初期から筑前琵琶を愛し、語りつづけられて今もご健在の八田二丁目平井新一郎氏を訪問して、心境をお伺いしましたお二人の感想です。

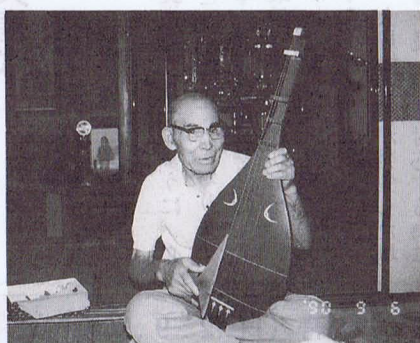
若い頃から琵琶に魅せられて活躍され、今もお達者でいられる平井新一郎さんは、「奥伝」まで極められた数少ない腕前の持ち主です。

昔はあちらこちらへ慰問に出かけたり、小学校の講堂で発表したりで、平井さんの名調子に強く感銘された方も数多くお見えになることと思います。

大東亜戦争が始まってからは琵琶を弾く機会も少なくなりました。

「作品の中で、かるかや」の一場面を奏する時は、本当に涙が自然に出てきますよ」とおっしゃっていました。

又、「野良仕事」のとき、乳母車に赤ん坊を寝かせながら仕事をしていたもので、その良き時代のお話しも伺うことができました。



(天野)

これからも、そしていつまでもお元気で！
(寺村)

お話を伺っている大らかなお姿の中に、明治・大正・昭和の三代に亘る永い歳月を生きた抜かれて、ときには激動の苦難を乗り越えての今日、その後を振りかえってみるとよくもこままでと感嘆いたしました。

深い悲しみも一人静かに、西の彼方に多岐の色彩の中に沈みゆく落日の夕暮れに、何かを祈られた佛のお姿も、交わすお話の中から伺われました。

今後も、若い時に身につけられた無我のお心で語られる琵琶の撥さばきの音根から、滲みでる悲喜愛情の細やかさを教えていただきたいものです。

これからもご健康で、ご長寿をお祈りいたします。

私の昭和 悲しみにたえて

城山町 森 田 鶴子

六十四年間の永い昭和時代の過ぎ去った思い出は、さまざまなきざまりがあります。酒造業を営む主人と結婚したのが昭和九年。その当時、この地羽津にはガス・水道もなく、大きな道路も出来ておらず、今の若い人、子ども達には想像もできない生活状態でした。三年後には支那事変となり、あの大東亜戦争の開戦発令と共に、軍部召集に多くの方々各激戦地に向い、ただ勝つ事のみを信じて戦いに戦いぬいて頂きましたが、誠に残念にも悲しい敗北に終わってしまいました。

数多くの戦没者、そしてその家族は大きな悲しみをこらえ、互いに励まし励まされて強く生きねばなりません。

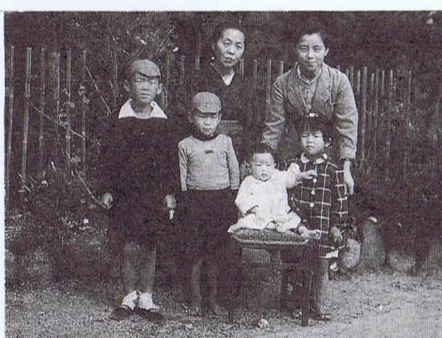
主人も二回目の召集を受け、昭和十九年三月末日午前三時、雪舞う国鉄四日市駅へ最後の面会見送りにまいりましたが、主人の好きな甘い菓子には手に入らず、家で漬けた奈良漬を申し訳なく思いながら手渡しました。車中どんな気持ちで兵隊さん達

と食べ合ったのでしょうか。

発車まぎわ、主人が残した「母さんと、子ども達をまっすぐ育ててくれよ、ありがたう。」の別れの言葉は今も胸にきざまれ、忘れる事はありません。「昭和二十年八月十一日、激戦地ビルマ・ミッチョウにて砲弾を受けて戦死」の公報があり、覚悟は決めていたものの、悲しい辛い日々が続きました。

戦中戦後は、食糧品も衣類も配給制となり、小学校の通学にはわらじを履いて、つぎをあてた服装でも何の不足も言わず、その当時の思い出の記念写真をみるたびに、思わず涙がこぼれます。

今、子ども達は成人して、各々に家庭を持ち、平和な生活を送っていますが、私にとっては誠に波乱万丈の昭和の時代でした。



(昭和十九年写す)

「いざ」というとき！ ご存知ですか？ ……災害にそなえて……

あなたの避難場所は

—— 自治会別の避難場所 ——

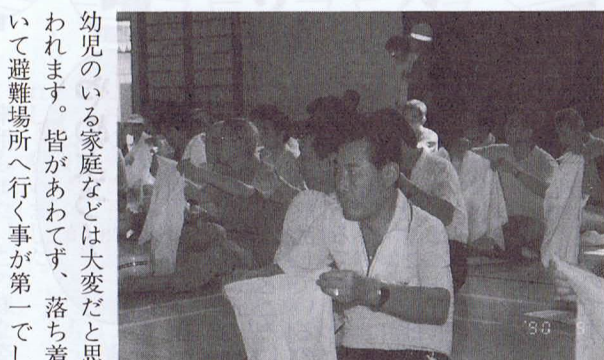
避難場所	電話	自治会名
富士電機 体育館	31-6111	富士町・予備
羽津地区市民 センター	31-4465	羽津町第3
羽津小学校	31-4474 31-4475	羽津町第1・羽津町第2・金場町 城山町・山手町・大宮町第1 大宮町第2・大宮町第3・羽津山町
羽津幼稚園	31-4712	大宮西町
羽津保育園	31-6987	羽津中町
羽津北小学校	64-9885 64-9886	八田第1・八田第2・八田第3 霞ヶ浦町南部・霞ヶ浦町北部 鷗町(南鷗町を含む)
羽津中学校	32-9444 33-0267	別名第1・別名第2・別名第3 別名第4・別名第5・緑ヶ丘町
羽津会館	32-0835	白須賀町
北勢自動車協会	64-5771	予備

私は今回、防災訓練に初めて参加し、怪我の応急手当として、三角布のたたみ方、使用方法、骨折の時の雑誌による副木の方法、毛布を使った簡単なタンカの作り方等を実習し、又校庭で土糞の積み方積み方、放水等を見学させて頂き大変参考になりました。

私達の地域は、水害、土砂崩れの心配は少ないが、地震や火災はともにも気になります。特に高齢者

防災訓練に 参加して

藤川美智子

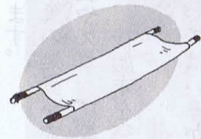


幼児のいる家庭などは大変だと思われま。皆があわてず、落ち着いて避難場所へ行く事が第一です。

よう。この事を頭に入れて、個々の家庭で準備すべき事を話し合いたいと思います。

この訓練は私にとって意識をもつ良い機会となり感謝しております。

又、最近ビル火災等がよくおきておりますが、デパートやビルの中にいる時、火災が発生したら、どの様な対処の仕方があるのか等も、次の機会に教えていただけたらと思います。



指定の避難場所まで行けない時は、
まず、近くの避難場所へ!!

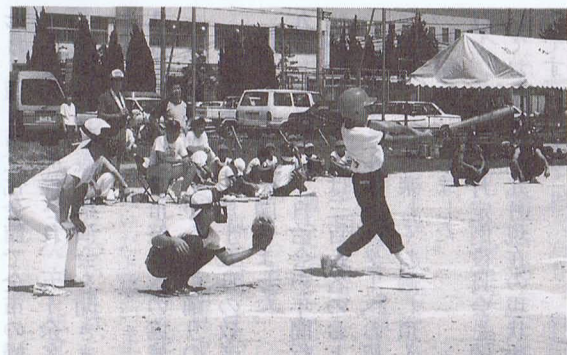


「なつかしいなあ。」「御元気でした。」「あちらこちらからそんな会話が聞こえます。羽津地区では、七十才以上の方が、今年八四二名（内、新招待者六十八名）いらっしゃいます。明治・大正・昭和そして平成と四代生き抜いてこられた心意気が伝わってくるようです。」「来年も又元気にこれるか」と言うようなひとことを聞くと、胸の痛くなるような思いがします。どうか皆様の御長寿をお祈り申し上げます。

羽津地区
敬老会
婦人会

夏休みに入ると、どこの広場でも子供たちがフットベースボール、ソフトボールをしている姿を見かけるようになります。広場も少なくなり、子供たちの数も少なくなっているためか数年前から見るといきいきとした本来の子供の姿を見ることができません。子供たちにとっても育成者にとっても縦のつながり、横のつながりが深められるいいチャンスなのですが、チームを作るのに人数が足りないから参加できないという地区が増えています。沢山の参加者になるよう趣向を変えていくべきなのではないか。

夏休み
球技大会
青少協



これでいいの？ もう一度、考えてみませんか！

・・・ルールを守って きれいな町に・・・

きれいな町づくり あなたも一役！

生活内容の向上で、各家庭から出されるごみの量も膨大なものとなり、この処理で大きな問題となりつつあります。

市当局でも、種々の施策がとられておりますが、やはり各家庭の協力がなければ効果がありません。

ごみ処理については、市の広報や回覧などで、既に皆さん方はご承知のことと思いますが、現在の地区内の状況を見るとき、残念ながら万全とは言いきれませんが、

ごみ収集

ご存じですか？

ごみ出しの原則

(1) 決められた日に

羽津地区の収集は、一般ごみは毎週火曜・金曜の二回です。

埋立及び再生ごみは夫々毎週金曜日で、隔週毎になっています。

皆さんの家庭に、収集日程表が配布されていますので、判り易いところへ貼っておいて下さい。

(2) 決められたものを

▽一般ごみ（台所から出る生ごみ 紙くず類その他）

▽再生可能（紙類・布類・ビン・



ガラス類・金属類

▽埋立ごみ（プラスチック類・粗大ごみ・不燃ごみ）

▽有害ごみ（乾電池・体温計）

ごみの分類は、各家庭で完全に仕分けをしておきましょう。

(3) 決められた場所へ

各自治会によって、集積場所が決められていますので、判らないときは自治会長にきいて下さい。



守ろう

ゴミ出し

3原則



愛犬家の皆さん！ 犬の散歩をさせる際、他人への迷惑を考慮して居られるでしょうか？ 地区内のいたるところに「犬の糞をさせないで下さい」、「犬の散歩お断り」等の立札を多く見かけます。これは犬の糞の始末をしないため、飼主の皆さんには判らないことが、他人には大変な迷惑になっているのです。

糞害に憤慨

犬の散歩をする際、糞の始末をする用具を持っていますか？

○A：いつでも糞の処置ができるよう、袋やスコップ等、用具を持ち、後始末を完全にします。

○B：用具を持ってはいるが、他人が見ていないと、そのまま放置して立ち去る。

○C：全く無関心派で、他人の迷惑など、どこ吹く風。

さて、果してあなたはどのタイプでしょうか？



最後にひと言、犬の糞の放置はやめましょう。他人の迷惑です。

バムアル地区行事



七月から準備した羽津の盆踊り大会は、天候にも恵まれ無事成功裡に終わりました。

今年は、宣伝カーで地区を回り、みんなに呼びかけたのが効いたのか、昨年に比べてたくさんの方が集まり、賑やかで楽しかったと思います。おどるボンポコリンが、今年の盆踊り大会成功のキーをにぎっていた様な気がしました。お父さんやお母さんが、この曲にあわせて子供と一緒に踊ってくれたのが、とてもうれしく思いました。

来年もまた、この様な姿が見られるのを期待しています。

「暮らしの中にスポーツを」の合

スポーツ

体振



言葉で、羽津地区体育振興協議会では、地区住民の親睦と体力の向上を目的に、各種行事を行なっています。四年前より住民参加のできるレクリエーションスポーツ「インディアカ」を羽津中学校体育館で毎週木曜日、夜行なっていますので皆さんの参加をお待ちしています。

又、レクリエーションスポーツの第二として「グランドゴルフ」を始めました。子供からお年寄りまで皆が楽しめるスポーツです。グランドゴルフによく似て、校庭に八つのコースを書き、ゴルフのルールで試合をするゲームです。

(青年団)





羽津郷土史研究会

森 元三

人造堰と言う今では想像も出来ない景色の所がありました。

羽津の田圃を灌漑した用水が、里ノ東へ掘切橋を潜って海に出る排水溝で、東へ二百米位流んで流れ、干潮時だけ樋門が開いて、満潮時の海水の浸入を堰き止める仕掛けがしてあった。通る人は珍らしげに足をとめ樋門の上や下を眺め、更に海に連なる運河の両岸の景色を見るのでした。



(三代豊国画東海道53対 四日市の図)

(浮世絵風の女性の背後に那古浦のしんきろうが見える)

又、石積み漁や、美濃加茂辺りから来た長細い川舟が桑名で海に出た時に二隻を繋ぎあわせてここに入るのでした。底荷は丸石をバラストにして炭薪を荷揚げし、丸石はコンクリートの無かった頃で石垣に重用されました。遠い木曾川中流の石が白須賀は勿論、濃州街道の石垣にも何処にも残っています。

樋門の上の防潮堤は浜街道とも

言われ、午起の海蔵川から富田浜までは明治十五年に完成しましたが、何度も決壊し修復を繰り返しました。この辺りを中世の外宮引き付帳には羽津浦と言う名で記録されています。

羽津湊から貢米を積んで出る舟は「伊勢へ下がるにや北よの風よ、こつちやイナ瀬で戻り風」こんな歌もありました。一枚帆の舟で夕方出れば翌朝には伊勢の神社港に着いて、朝の九時か十時には定めてイナ瀬(東南風)で戻れたもので、大正年代まで羽津の若い衆は舟でお伊勢まいりをしたそうです。明治二十二年の「羽津村誌」には、白須賀で「航を営む者二戸」と記されています。

安政の地盤沈下からしばらく見捨てられていた浜街道から海辺は白砂青松の浜になっていたが、大正十年過ぎから霞ヶ浦土

地株式会社海岸別荘地や海水浴場が出来、続いて昭和四年から南に一周八百米の競馬場が開設され、二十七年から競輪場に模様替えされた。旧は四日市の海が「那古のお渡し」で有名な霞ヶ浦であったのに、羽津浦が霞ヶ浦という地名に変わってしまった。次回へ

羽津

地区文芸

短歌

〈羽津野短歌会より〉

小林 英選

刈り入れのすみし田の面に鳩群れて落穂つひばむ夕影の中

別名四丁目 青木 照子

晴天の続く幾日朝夕に白菜に水やりて雨を待つ

鳩町 伊藤 品子

土堤道の芒の蔭に生ひつつくナンバンギセルの匂ふ紫

大宮町 加藤 光子

梅の実の熟れゆく甘き香のたちて家内のみてり漬け頃ならん

羽津山町 坂倉 俊枝

出揃ひて小かぶの二葉ひとときのしのつく雨にみだれ伏したり

富士町 杉本 光子

槇の木の葉蔭に羽ばたく黄金虫蟻の斧に掴まれてをり

富田浜町 早川 澄枝

倒れたる檜おこすと子とふたり夏草わけて山に入りゆく

川原町 平子 季昭

焼きし薬力となりて稽田の緑鮮やかに伸び出したり

羽津町 広瀬 敦子

姑と共に暮らせし四十年いまはの際を夫と看取りぬ
羽津町 前田素女子
稔り田を一面覆ふ白き網かがしの姿今年目にせず
東阿倉川町 水谷 伶子

幼孫へ形見とならん教えせし羽子板の裏に七十歳作と書く
桑名市 村田 千代
一面にひまわりの咲く町を過ぐ「ひまわり」といふ映画のありき
桑名市 渡辺 茂子

〔選者詠〕
バス停に通ふ小径の山帰来こころにとめて見る人ありや
みゆきヶ丘 小林 英

〔選者句〕
樹々の中大きな霧の通りけり
羽津山町 村田 青麥

俳句

〈志氏ヶ野句会より〉

村田 青麥選

風花の衿にかさなる展墓かな
城山町 川本 ふみ

菜種梅雨大正琴のさぐり弾き
大宮町 武藤 弘子

したたかに太り轟めく葱坊主
白須賀町 館 二三子

泣くときも掌の中の蘭手放さず
緑ヶ丘町 神田妃呂美

春寒や群れて声なき山鴉
羽津町 藤井まき女

めぐむもの皆いとしけれ土筆つむ
城山町 片岡とき代

初蝶の舞ひ来し畑に草を取る
羽津町 大森みつゑ

枯鶯の大壁画なす貸倉庫
羽津中 紀平とく子
旧友と語る山宿秋深し
羽津中 加藤 幸代
桃の花咲き初む庭の雨一卜日
八田町 久志本幹子
湯のたぎる湖畔の宿に椿咲く
別名町 水谷 安代
写経する硯にとどく冬日かな
城山町 宮田 健三

〔選者句〕
永く続いた残暑も台風一過、急速に秋めいて参りましたが、お変わりありませんか。
本号では、防災訓練を紹介しましたが、お宅の防災対策は十分でしょうか。
晴れわたった秋空を見ていると災害などどこ吹く風と考えますが、今一度、家庭の防災対策について、家族みんなで話し合ってみて下さい。

編集後記

編集委員

- 山本鉄男・天野平一
- 内田節子・井上キヨ子
- 森 博司・寺村由里子
- 小井正史・上野恵美子
- 山田明美
- 羽津地区市民センター